

# 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 1. はじめに

令和5年度は中止となった事業もあったが、コロナ禍以降初めて全部門にわたり事業を実施し、芸術祭の事業の中では既存の事業においてこれまで中止としていたイベントの再開や新たな企画を盛り込むなど各部の意欲的な取り組みもあり、協会としてコロナ禍以前に近い形で、本格的に事業を再開する年度となった。

幹事担当地区として前年度から対応に努めてきた東北・北海道芸術文化団体協議会の創立50周年記念事業シンポジウムも芸文協各団体及び当日の出演者とも連絡調整を図りながら、準備を進め当初計画通りに開催。企画としても関連企業・団体のみならず、各自治体や幅広い業界の企業・団体からも好評を得て、本協会としても大きな成果を残すことができた。

また、次年度の令和6年度に開催を予定している本協会創立60周年記念事業についても役員による検討会議を立ち上げ、事業の骨子と予算の概算までを年度内に取りまとめ、次年度の開催に向けた足場づくりを行う年度にもなった。

令和5年度は各部における事業の再開と共に、各記念事業の実施と準備も併せて行うなど、協会としても令和4年度から本年度をまたぎ令和6年度へとつなげる大きな節目として協会の運営にあたる一年となった。

## 2. 会員状況

正会員、名誉会員の総数は前年度末1,780名から本年度末1,705名。75名減少(入会51名・退会126名)。

賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末102から本年度末95件(団体65、個人30)。7件の減少(新規0、退会7〔団体5、個人2〕)。過去3年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	令和2	令和3	令和4	令和5			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	84	85	82	82	1	83	1
絵画部 (洋画)	349	344	343	330	4	334	△9
彫刻部	39	39	39	40	1	41	2
工芸部	88	87	84	82	2	84	0
書道部	369	352	345	336	1	337	△8
華道部	138	127	129	118	0	118	△11
邦楽部 (三曲・琵琶)	36	35	33	31	0	31	△2
邦楽部 (長唄)	33	27	25	24	0	24	△1
洋楽部	137	130	132	135	1	136	4
演劇部	2	2	2	2	0	2	0
文芸部	227	226	209	181	4	185	△24
舞踊部	13	15	15	15	0	15	0
茶道部	281	259	240	210	2	212	△28
写真部	118	107	102	103	0	103	1
計	1,914	1,835	1,780	1,689	16	1,705	△75
賛助会員	112	112	102	—	—	95	△7
合 計	2,026	1,947	1,882	—	—	1,800	△82

### 3. 会議に関する事項

定時総会、理事会、監事会、記念事業に関する会議を次のとおり実施した。

#### (1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6/4	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

#### (2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4/24	東京エレクトロン ホール宮城 401 中会議室	第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 令和5年度定時総会の開催について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
第2回理事会	8/7	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会について 第2号議案 個人情報保護規程の制定について
第3回理事会	1/15	芸術協会 会議室	第1号議案 令和6年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 理事候補者数の配分について
第4回理事会	3/18	芸術協会会議室	第1号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 賛助会員の推薦について 第5号議案 令和6年度定時総会の開催について

※第2回・第4回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

#### (3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4/17	芸術協会 会議室	令和4年度事業報告及び会計監査

#### (4) 記念事業に関する会議〔理事・監事にて対応〕

会議名	期日・会場
記念事業検討会議	①6/4(福祉プラザ) ②9/23(トークネットホール仙台) ③12/1(ホテルメトロポリタン仙台)
記念式典・記念誌グループ会議	①1/15 ②2/15 ③3/11(①-③いずれも芸術協会会議室)
記念イベントグループ会議	①3/4(芸術協会会議室)

### 4. 事業について

#### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する60回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

9月23日に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者88名)、12月1日に表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台・参加者123名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

## ①展示関係事業

展示部門の会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真展	9/23～9/26	せんだいメディアテーク5F	1,523名	75点
彫刻展	9/23～9/26	せんだいメディアテーク6F	1,399名	25点
絵画展	9/30～10/3	せんだいメディアテーク5・6F	5,036名	日本画 32点・洋画 161点・役員等 78点
華道展	10/7～10/10	せんだいメディアテーク5F	2,327名	56点
書道展	10/7～10/10	せんだいメディアテーク5・6F	3,562名	262点
工芸展	11/8～11/12	TFU ギャラリーミニモリ	1,865名	58点

※会期内各展の催し等を次のとおりに実施した。

◎写真展:企画展として①モニター展示「写真部会員による渾身の一枚」、②〔写真部創設 30周年特別企画〕佐々木徳朗の世界『昭和の記録』の展示を行った。

◎彫刻展:招待作品として宮城県外からの作家を1名を招き、作品を展示した。

◎華道展:チャレンジ席を設けて会員以外の5流派による作品(前期3点・後期3点)を展示した。

◎工芸展:小品コーナーを設け、31名の会員作品を会期内展示した。

## ②演奏関係事業

邦楽部(長唄)、洋楽部において次のとおり演奏会を開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
長唄演奏会	10/15	トークネットホール仙台	152名	会員14名 外部1名
音楽会	10/28	日立システムズホール仙台	408名	会員31名

## ③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり実施した。

文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/5	奥州市・一関市	—	参加者29名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	650部発行
文芸祭	10/28	東京エレクトロンホール宮城	92名	—

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ( )=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
ジュニア	26(26)	159(139)	62(58)	16(8)	—	263(231)
高校生・一般	5(5)	68(36)	58(24)	68(30)	16(13)	215(108)

## ④茶会

茶道部において茶会を次のとおりに開催した。(4年ぶりの実施)

事業名	期日	会場	入場者数	備考
茶会	10/14～10/15	輪王寺	631名	6流派参加

## ⑤人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

### a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
フォトサミット in Sendai 2023	9/23～9/26	せんだいメディアテーク5F	1,523名	応募(人数)903点(258名) 入選 108点
絵画展(公募の部)	9/23～9/26	せんだいメディアテーク6F	1,399名	85点
彫刻公募展	9/23～9/26	せんだいメディアテーク6F	1,399名	応募・入選 7点

### b. 音楽コンクールの実施

昨年度(第43回)コンクールの受賞者への特典とするガラコンサートを次のとおりに開催した。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。

また、第43回音楽コンクールをピアノ部門、ヴァイオリン部門の2部門で次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第43回音楽コンクール ガラコンサート	9/24	日立システムズホール仙台	出演受賞者 26名 芸術協会管弦楽団 33名	503名
第44回音楽コンクール予選 ピアノ部門 ヴァイオリン部門	2/11	日立システムズホール仙台	ピアノ部門予選出場:121名 初級A:13名、初級B:23名 中級A:29名、中級B:28名 上級A:15名、上級B:13名 ヴァイオリン部門予選出場:55名 初級A:13名、初級B:16名 中級:20名・上級:6名	583名
第44回音楽コンクール本選 ピアノ部門	3/10		ピアノ部門本選出場:63名 初級A:6名、初級B:12名 中級A:15名、中級B:16名 上級A:6名、上級B:8名	428名
第44回音楽コンクール本選 ヴァイオリン部門	3/17		ヴァイオリン部門本選出場:58名 初級A:10名・初級B:13名 中級:17名・上級:6名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:10名 ツィゴイネルワイゼンコンクール:2名	

### c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	9/4	芸術協会 会議室	10名	講師:吾妻 克美 会員
第2回写真セミナー	9/15	芸術協会 会議室	6名	講師:EIZO 株式会社
第3回写真セミナー	9/29	芸術協会 会議室	13名	講師:佐藤 崇 会員
第4回写真セミナー	10/13	芸術協会 会議室	16名	講師:高橋 吉勝 会員

※これまで報告した事業に加え、第 65 回仙台三曲協会定期演奏会（11 月 12 日、会場：トークネットホール仙台、来場者 269 名）、第 51 回洋舞公演（11 月 12 日、会場：東京エレクトロンホール宮城、来場者 870 名）、歳末たすけ合い第 60 回各流舞踊大会（12 月 3 日、会場：電力ホール、来場者 781 名）、を芸術祭参加行事とした。

## （２）芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業 2】

定款第 4 条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

### ①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第 60 回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/20～ 11/26	東京エレクトロンホール宮城	538 名	会員の部 40 点 公募の部 18 点

### ②人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第 3 回宮城県各流子ども舞踊大会 [主催:公益社団法人日本舞踊協会宮城支部]	7/29	仙台市福祉プラザ	150 名	出演:14 社中 28 名
第 4 回杜のみやこ工芸展 [共催:河北新報社 公益財団法人河北文化事業団 公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/8～11/12	TFU ギャラリーミニモリ	1,865 名	応募作品数(人数) 183 点(152 名) 入選:157 点(内:主催団体 等賞 21 点、奨励賞 12 点)
書道部による県内小中学校の 講師派遣事業	訪問日	学校	対象学年	担当会員
	11/29	仙台市立高森中学校	1-3 年	小幡 香風
	11/30	七ヶ浜町立汐見小学校	6 年	佐藤 象雲
	12/7	気仙沼市立気仙沼小学校	3-6 年	武山 櫻子
	12/7・14	大崎市立三本木小学校	3 年・5 年	佐々木 鳳堂
	12/14	柴田町立東船岡小学校	4 年	加藤 松軒
	12/19	仙台市立七郷小学校	4 年	渋谷 青龍
	1/15・16・19	栗原市立築館小学校	3-6 年	後藤 法明
第 10 回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/11～12/17	東京エレクトロンホール宮城	250 名	応募:130 点 内、入賞・入選:41 点
第 10 回子供の邦楽コンサート [主催:仙台三曲協会]	3/16	仙台市福祉プラザ	230 名	出演:70 名

### ③後援事業

「河北書道展」など、本協会に本年度申請された75件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

### (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

#### ○東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の事業を本年度も引き続き本協会が幹事地区として企画・運営にあたる形で、協議会創立50周年の記念事業として次のとおり実施した。

また、同日に交流協議としての総会も開催した。

なお、例年発行している協議会機関誌「北斗」の発行については記念事業実施の兼ね合いにより、発行は次年度以降に見合わせることにした。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
東北・北海道芸術文化団体協議会 創立50周年記念シンポジウム 「時代はアートだ！芸術文化が拓く、 わたしたちの(社会)未来図」	7/14	仙台国際センター	370名	第一部:基調講演 講師:山口 周 氏 第二部:トークセッション 出演:大澤 隆夫 氏 山中 大介 氏(映像出演) 松村 豪太 氏 第三部:パネル討論

### (4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第4条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行 (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業-に関する事業を次のとおり実施した。

- ①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業としての研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
茶道部研修会	5/21	輪王寺	120名	

- ②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため機関紙「はなやま」を次のとおり発行した。

事業名(発行号数)	発行日	部数	内容
機関紙「はなやま」刊行	(236号) 5/12	2,200部	総会開催案内、新入会員報告、事業計画・予算書、記念事業等
	(237号) 11/15		芸術祭・芸文協事業報告、芸術祭・各賞受賞者紹介

#### ◎本年度中止事業について

諸般の事情により次の事業を中止とした。

事業種別	事業名	担当部門	
公益目的事業2 (主催・後援事業)	鑑賞機会提供事業	みやぎミュージックフェスタ	洋楽部
	伝統文化体験事業	第24回杜の都大茶会	茶道部
	人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	絵画部
他事業	研修	絵画部スケッチ研修会	絵画部
	研修	講演会	協会全体